

増税後は7割がキャッシュレス決済に積極的

～20代から80代の女性1232人に「消費増税」アンケート～

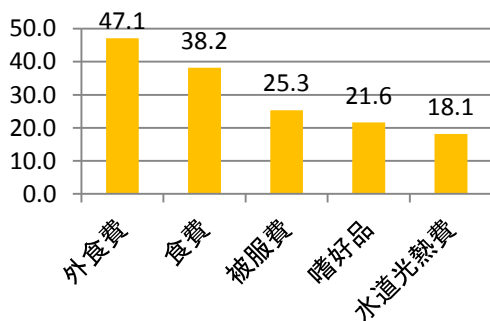
節約したいもの1位は「外食費」

女性のための生活情報紙「リビング新聞」を発行するサンケイリビング新聞社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長 田中則昭）では、昨年11月に「消費増税」アンケートを実施（※1）。2月9日号のリビング新聞（大阪・兵庫128万6600部発行※2）で、「10月までに考えたい 消費税10%のこと」として特集しています。

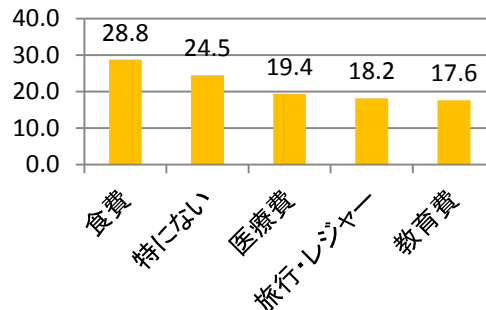
増税後の家計は、「かなり厳しくなりそう」（39.5%）、「少し厳しくなりそう」（51.0%）と、約9割の人が懸念。増税後の買い物行動の変化（複数回答）では、「購入する商品をより安いものに変更」（34.0%）、「より安く売っている店舗を探す」（32.7%）、「セールのときにまとめ買い」（31.9%）、「買う量を減らす」（31.3%）と、買い物に慎重になる姿がうかがえます。

増税を機に節約したいものとしては、「外食費」（47.1%）が全世代を通じて1位に。逆に、増税後も節約しないものとしては、「食費」が1位でしたが、年代別にみると、「旅行・レジャー」（20代）、「教育費」（30代）、「食費」（40代以降）と、回答が分かれました。

■増税を機に節約したいもの（上位5項目 MA・%）



■増税後も費用をあてたいもの（上位5項目 MA・%）



キャッシュレスでのポイント還元施策が実施されると、「普段は現金支払いが多いが、積極的にキャッシュレス決済をしようと思う」（32.1%）層が、「現金支払いに慣れているので、キャッシュレス決済は利用しない」派（20.8%）を上回る結果に。「普段からなるべくキャッシュレス決済をしているので、特に変わらない」（41.9%）を含めると、約7割の人がクレジットカードや電子マネーなどを使うことに積極的。国が進めるキャッシュレス化が一気に加速しそうです。

《特集記事では》

増税前に買い物をするなら何をかう？ 読者アンケートの結果のほか、増税に伴う経済施策を紹介。

また、公式サイト「リビング大阪Web」では上記情報に加え、軽減税率の正しい理解を促すため、抽選で5人に2000円の商品券が当たる「軽減税率クイズ」（近畿大学経済学部・角野浩教授解説）も実施しています。

リビング大阪Web <http://r.living.jp/mrs/osaka/0209shouhizei>

※1 アンケートは2018年11月22日～28日に、リビングWebで実施。有効回答数1232（20代～80代女性・全国）
※2 （社）日本ABC協会「フリーペーパー発行社レポート2018年1月～6月」の地区別分析部数に基づく

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 関西事業本部 編集部 担当：北村・草場

TEL：06-6647-2034 FAX：06-6647-2094 E-mail：ktmrrika@sankeiliving.co.jp